

令和7年12月8日

第374空輸航空団司令官
マックエルハニ一大佐 殿

北関東防衛局長
池田 真人

東京都福生市内で回収されたパラシュートについて

11月18日に米陸軍兵士が降下訓練中に羽村市の横田基地外に降着したことを受け、米軍は、18日及び19日の降下訓練を中止し、使用機材及び手順について徹底した点検を実施し、パラシュート降下運用の安全性について確信が得られたことから、11月20日から訓練を再開しました。

その上で、米側から、11月20日に、空挺降下訓練中に、兵士が予備パラシュートを使用した際に、主傘が風によりコースを外れ、米軍が福生市内で回収したとの新たな情報をいただきました。

当局としては、米軍は、使用機材及び手順について徹底した点検を実施し、パラシュート運用の安全性の確信が得られたとしながらも、訓練再開日に、主傘及びパラシュートの一部が基地外に落下したこと及び施設の管理者の許可なく施設内に立ち入り回収したことに対し、強い遺憾の意をお伝えします。

今回の主傘落下は、多くの市民が利用する場所であり、子供等に怪我を負わせる可能性、運行車両全面に覆い被さり交通事故が発生する可能性もあります。

また、本件事案について、米側から当局に対し、情報提供がなされなかつたことは誠に遺憾であり、今後は速やかな情報提供を求めます。

当局としては、在日米軍による部隊練度の維持のための訓練は必要と理解しており、在日米軍が常に円滑に訓練を実施できる環境を確保することが重要であると考えています。訓練に当たっては、安全管理が徹底されることが大前提であり、また、周辺住民の生活に十分な配慮を払って行われるべきものと考えています。

また、このような事案が続くことは、貴軍と我々が培ってきた周辺自治体との信頼関係を大いに傷つけかねないものです。

については、原因を究明し確実に再発防止策を講じるとともに、今後の訓練の実施に当たっては、十分な安全管理を徹底し、周辺住民に与える影響を最小限にとどめるよう、あらためて強く申し入れます。そして繰り返しになりますが、基地外に落下物等が発生した場合には、当局への速やかな情報提供を求めます。

以上